

第2章 第3次計画の評価

1. 第3次健康都市いずみ21計画の評価

「第3次健康都市いずみ21計画」の指標は8分野で全31項目あり、その目標値は、国や府の目標値、「第3次健康都市いずみ21計画」策定時のアンケート調査の結果、統計データを踏まえ、和泉市独自に設定しています。評価については、達成状況により4段階で行い、目標値を達成した項目(A)、目標値は達成していないものの改善している項目(B)、変化していない項目(C)、悪化している項目(D)としています。

評価結果は、目標値を達成した項目(A)は5項目あり、健診結果を健康管理や生活習慣改善に役立っている人の割合や虫歯のないこどもの割合、受動喫煙による健康への影響を知っている人の割合などとなっています。また、目標値は達成していないものの改善している項目(B)は8項目あり、特定健康診査の受診率やがん検診の受診率、男性の喫煙率などとなっています。

変化していない項目(C)は12項目あり、妊婦の飲酒率や生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合など、特にアルコールの分野の指標が多くなっています。

悪化している項目(D)は6項目あり、野菜を毎食(1日3回)食べる人の割合や、30~50歳代男性で肥満者の割合、地域活動や市民活動への参加状況などとなっています。特に、野菜の摂取や適正体重の維持は生活習慣病の予防にも重要であり、改善に向けた取組を重点的に検討する必要があります。

【第3次健康都市いずみ21計画の指標の達成状況(全体)】(速報値)

分野	指標数	目標に対する評価	第3次計画策定時の値に対する評価		
		達成 (A)	改善 (B)	変化なし (C)	悪化 (D)
こころの健康	2	0	0	2	0
身体活動・運動	2	0	1	1	0
栄養・食生活	2	0	0	0	2
健康チェック	9	1	6	1	1
歯と口腔の健康	3	2	0	1	0
たばこ	6	2	1	2	1
アルコール	4	0	0	3	1
健康を支え、守るための地域づくり(地域力の向上)	3	0	0	2	1
合計	31	5	8	12	6

【評価について】

(A) 達成: 目標値を上回っているもの

(B) 改善: 計画策定時の数値から改善しているもので、検定結果で有意差があるもの

(C) 変化なし: 計画策定時の数値から改善または悪化しているもので、検定結果で有意差がないもの

(D) 悪化: 計画策定時の数値から悪化しているもので、検定結果で有意差があるもの

*統計学的有意差検定を行わない指標の場合、B、Dの区分は、相対的に5%以上の変化を目安とする

分野	評価指標	対象	第3次計画 策定時	第3次計画 目標値	最終 評価値	評価
健康 こころの	1. ストレスを解消できている人の割合	20～74 歳	50.9%	56.0 以上	52.1%	C
	2. 睡眠による休養が十分とれている人の割合	20～74 歳	60.2%	66.0 以上	56.7%	C
身体活動・運動	1. 日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合	20～60 歳代	12.4%	25.0%以上	16.4%	B
	2. 運動習慣者の割合 (運動習慣者とは1回30分以上の運動を週2回以上行っている人)	20～60 歳代	25.7%	34.0%以上	27.7%	C
食生活・栄養	1. つけ物以外の野菜を毎食(1日3回)食べる人の割合	20～74 歳	48.3%	55.0%以上	43.6%	D
	2. 肥満者の割合	30～50 歳代 男性	31.3%	28.0%以下	45.3%	D
健康 チェック	1. 特定健康診査の受診率	国民健康保険 被保険者 (40～74 歳)	38.2%	60.0%以上	39.6% (暫定)	B
	2. 定期的に(毎年)健康診査を受診する人の割合	20～74 歳	76.1%	85.0%以上	75.2%	C
	3. がん 検診 受診率	胃がん検診 対象者	2.7%	20.0%以上	1.9%	D
		肺がん検診 対象者	23.0%	45.0%以上	27.0%	B
		大腸がん検診 対象者	19.8%	40.0%以上	22.4%	B
		子宮がん検診 対象者	28.2%	45.0%以上	31.0%	B
		乳がん検診 対象者	26.2%	45.0%以上	28.0%	B
	4. 健診結果を健康管理や生活習慣改善に役立てている人の割合	20～74 歳	51.8%	65.0%以上	73.4%	A
	5. 特定保健指導の実施率	国民健康保険 特定保健指導 対象者 (40～74 歳)	17.0%	60.0%以上	23.7% (R4)	B
歯と口腔の健康	1. おし歯のない子どもの割合	3 歳 6 か月 児	80.3%	90.0%以上	90.4%	A
	2. 80 歳で 20 歯以上の自分の歯を有する人の割合	80 歳代	51.2%	55.0%以上	55.0%	A
	3. 過去 1 年に歯科健診を受診した人の割合	20～74 歳	62.8%	67.0%以上	64.8%	C
たばこ	1. 喫煙率	20～74 歳 男性	26.6%	15.0%以下	19.1%	B
		20～74 歳 女性	8.5%	5.0%以下	8.2%	C
		妊婦	4.5%	0%	3.7%	C
	2. 喫煙が健康に及ぼす影響について知らない小・中学生の割合	小・中学生	0.9%	0%	5.1%	D
	3. 受動喫煙の健康への影響を知っている人の割合	「糖尿病」の リスク	20～74 歳	9.4%	10.3%以上	A
		「歯周病」の リスク	20～74 歳	11.0%	12.1%以上	A

アルコール	1. 妊婦で飲酒する人の割合	妊婦	0.7%	0%	0.5%	C
	2. アルコールが健康等に及ぼす影響について知らない小・中学生の割合	小・中学生	3.5%	0%	6.0%	D
	3. 生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合	20～74 歳 男性	16.1%	13.0%以下	14.6%	C
	<1日あたりの純アルコール摂取量が男性 40g 以上女性 20g 以上>	20～74 歳 女性	16.2%	6.4%以下	17.5%	C
健康を支え、 地域の ためにつくる	1. 地域活動や市民活動への参加状況	20～74 歳	46.2%	50.0%以上	40.9%	D
	2. 地域でのヘルスアップサポーターいずみの活動の場	ヘルスアップサポーターいずみの登録者	30 か所	40 か所以上	30 か所	C*
	3. 地域とのつながりが強いと感じる人の割合	20～74 歳	20.3%	26.0%以上	19.4%	C

注：第3次計画策定時の数値と比較するため、最終評価値はアンケート結果から対象者を絞って再集計しているため、一部アンケート結果の数値とは異なるものもあります。

2. 第3次和泉市食育推進計画の評価

「第3次和泉市食育推進計画」の指標は5つの基本目標で全17項目あり、その目標値は、国や府の目標値、「第3次和泉市食育推進計画」策定時のアンケート調査の結果を踏まえ、和泉市独自に設定しています。評価については、達成状況により4段階で行い、目標値を達成した項目(A)、目標値は達成していないものの改善している項目(B)、変化していない項目(C)、悪化している項目(D)としています。

(第3次計画の基本目標)

- 基本目標1 食育が自分や家族に関わることを認識し、関心を持とう
- 基本目標2 生活リズムを整え、バランスの取れた食生活を実現しよう
- 基本目標3 食への感謝の気持ちを持ち、大切にしよう
- 基本目標4 食を楽しみ、食を通じたつながりを育もう
- 基本目標5 地域 みんなで和泉の食育を担おう

評価結果は、目標値を達成した項目(A)は5項目あり、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている人の割合や、ゆっくりよく噛んで食べている人の割合などとなっています。また、目標値は達成していないものの改善している項目(B)は1項目で、食事の際、「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつを必ずしている市民の割合となっています。

変化していない項目(C)は4項目あり、食育という言葉の意味を知っている人の割合や、農(林)業体験をした人の割合などとなっています。

悪化している項目(D)は7項目あり、食育に関心を持っている人の割合や、朝食をほぼ毎日食べている人の割合、地域で共食したいと思う人のうち、地域での共食に参加している人の割合などとなっています。食育は自らが意識して行動する必要がある、まずは食育に関心を持ってもらわなければなりません。また朝食を毎日食べることは、健康づくりの面でも重要な項目です。地域における共食や食育に係る活動はウェルビーイングの観点からも重要な要素ですが、コミュニティ活動支援の側面があり、保健分野だけの取組では難しいため、改善に向けた取り組み方について検討が必要です。

【第3次和泉市食育推進計画の指標の達成状況(全体)】(速報値)

基本目標	指標数	目標に対する評価	第3次計画策定時の値に対する評価		
		達成 (A)	改善 (B)	変化なし (C)	悪化 (D)
1食育が自分や家族に関わることを認識し、関心を持とう	3	1	0	1	1
2生活リズムを整え、バランスの取れた食生活を実現しよう	4	2	0	0	2
3食への感謝の気持ちを持ち、大切にしよう	7	2	1	2	2
4食を楽しみ、食を通じたつながりを育もう	2	0	0	0	2
5地域の人々で和泉の食育を担おう	1	0	0	1	0
合計	17	5	1	4	7

【評価について】

(A) 達成: 目標値を上回っているもの

(B) 改善: 計画策定時の数値から改善しているもので、検定結果で有意差があるもの

(C) 変化なし: 計画策定時の数値から改善または悪化しているもので、検定結果で有意差がないもの

(D) 悪化: 計画策定時の数値から悪化しているもので、検定結果で有意差があるもの

*統計学的有意差検定を行わない指標の場合、B、Dの区分は、相対的に5%以上の変化を目安とする

基本目標	No.	内容	対象	第3次計画策定時	第3次計画目標値	最終評価値	評価
1	1	食育という言葉の意味を知っている人の割合の増加	市民	56.8%	70%以上	54.6%	C
	2	食育に関心を持っている人の割合の増加	市民	73.2%	90%以上	67.5%	D
	3	食品の安全性についての知識を持ち、かつ、それらの知識等を踏まえて、食の安全性に関する判断・行動している人の割合の増加	市民	36.6%	45%以上	53.4%	A
2	4	朝食をほぼ毎日食べている人の増加	市民	86.5%	95%以上	83.3%	D
	5		小学生 中学生	85.9%	95%以上	82.7%	D
	6	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている人の割合の増加	市民	36.4%	50%以上	54.4%	A
	7	ゆっくりよく噛んで食べている人の割合の増加	市民	32.9%	40%以上	45.9%	A
3	8	地産地消を実践している人の割合の増加	市民	62.6%	70%以上	55.2%	D
	9	農(林)業体験を経験した人の割合の増加	市民	45.2%	60%以上	46.6%	C
	10	食事の際、「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつを必ずしている人の割合の増加	市民	40.3%	50%以上	47.7%	B
	11		小学生 中学生	67.9%	75%以上	65.4%	C
	12		幼児	54.5%	65%以上	74.0%	A

3	13	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、かつ、伝えている人の割合の増加	市民	30.7%	40%以上	20.6%	D
	14	食品ロスという問題を知っており、かつ、削減に向けて何らかの行動をしている人の割合の増加	市民	70.8%	80%以上	96.2%	A
4	15	地域で共食したいと思う人のうち、地域での共食に参加している人の割合の増加	市民	68.5%	75%以上	51.5%	D
	16	食育に関する学習や活動を行う自主的な集まりに参加したことがある人の割合の増加	市民	11.0%	20%以上	2.6%	D
5	17	現在、食育に関するボランティア活動に参加している人の割合の増加	市民	1.6%	5%以上	1.7%	C

注：第3次計画策定時の数値と比較するため、最終評価値はアンケート結果から対象者を絞って再集計しているため、一部アンケート結果の数値とは異なるものもあります。